

# 新型コロナウイルス感染症対応

「遠隔 I C U システム」

を市内医療機関に導入

～医療提供体制のさらなる充実に向けて～

# 神戸市での新型コロナウイルス 感染症の発生状況

# 直近2週間とピーク時の比較（陽性件数）

	直近2週間		陽性件数ピーク時 (3月~6月)
	8/3~8/9	7/27~8/2	4/6~4/12
陽性件数	103件	92件	76件
新規検査数	1,100件	1,351件	312件
陽性率	9.4%	6.8%	24.4%

※月曜～日曜の1週間集計。

※新規検査とは、新型コロナウイルス感染症の患者であることが疑われる者等に対し、その診断を目的として行う検査。

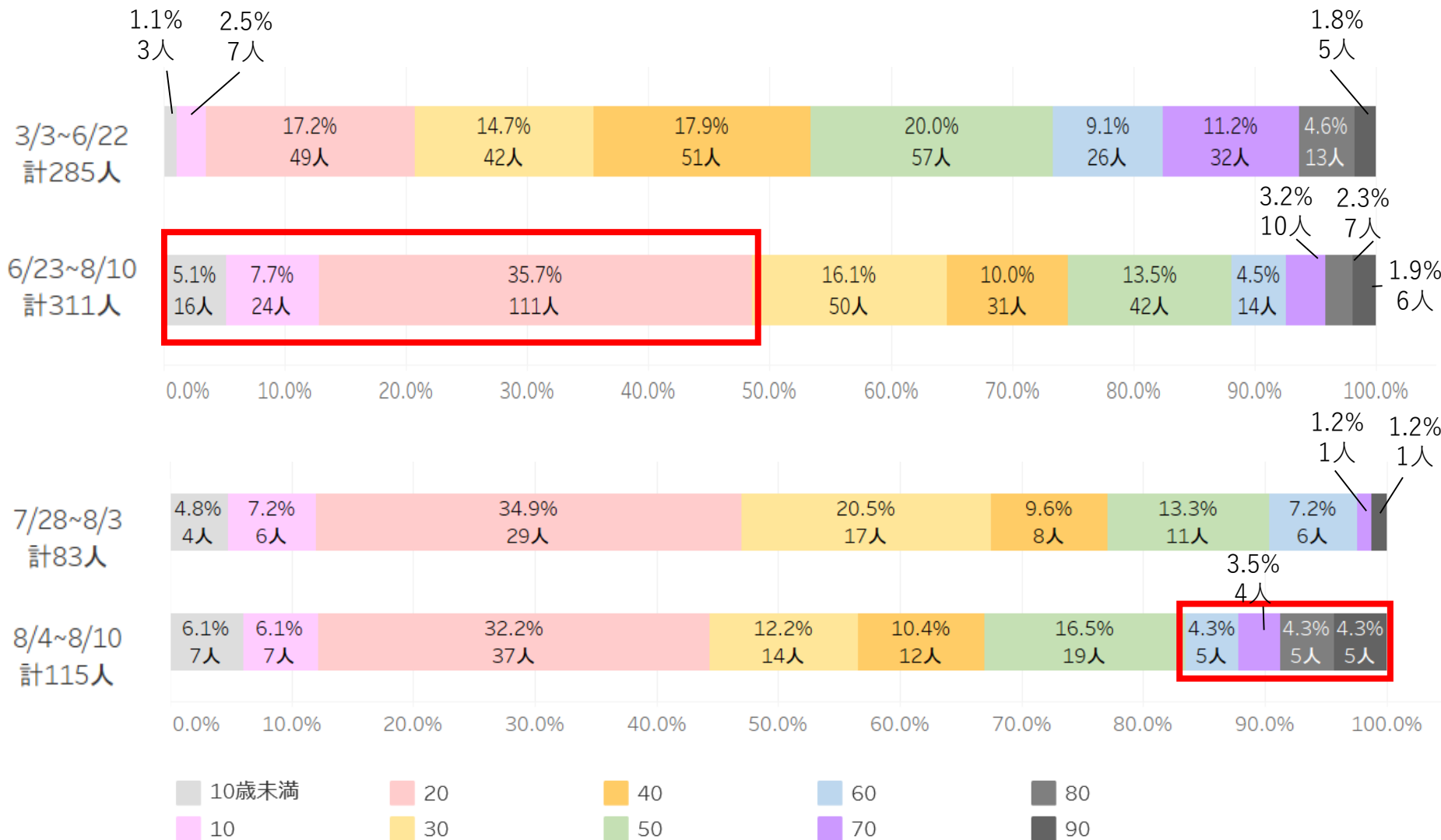
※陽性率 = 陽性件数 ÷ 新規検査数

# 直近2週間とピーク時の比較（入院患者数）

	直近の月曜日		入院,入所患者数ピーク時(3月~6月)
	8/10	8/3	
入院, 入所患者数	93人	76人	140人
入院患者	58人	53人	106人
(うち重症)	(1人)	(2人)	(9人)
入所患者	35人	23人	34人

※重症患者数のピークは4/30~5/1の12人。

# 年代別の感染者数



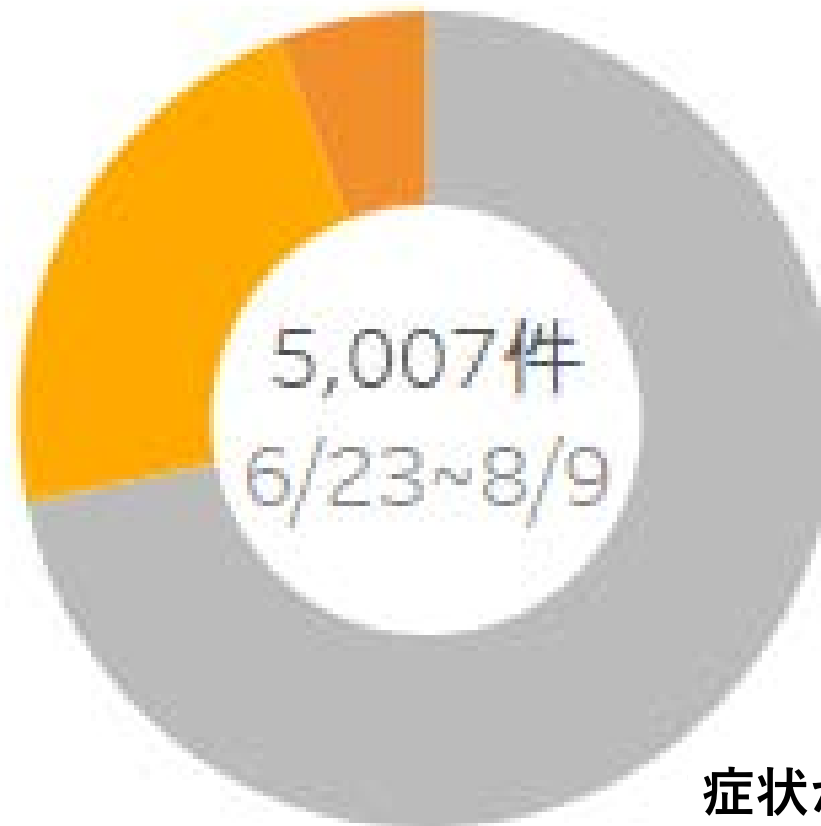
6/23以降  
20代以下が  
**48.6%**を占める  
(60代以上11.9%)

直近1週間  
**60代以上が**  
増加  
(9.6%→16.5%)

濃厚接触者  
295件 (5.9%)

健康観察者  
1,117件 (22.3%)

検査数全体に占める  
積極的検査の割合 **28.2%**  
5,007件のうち1,412件

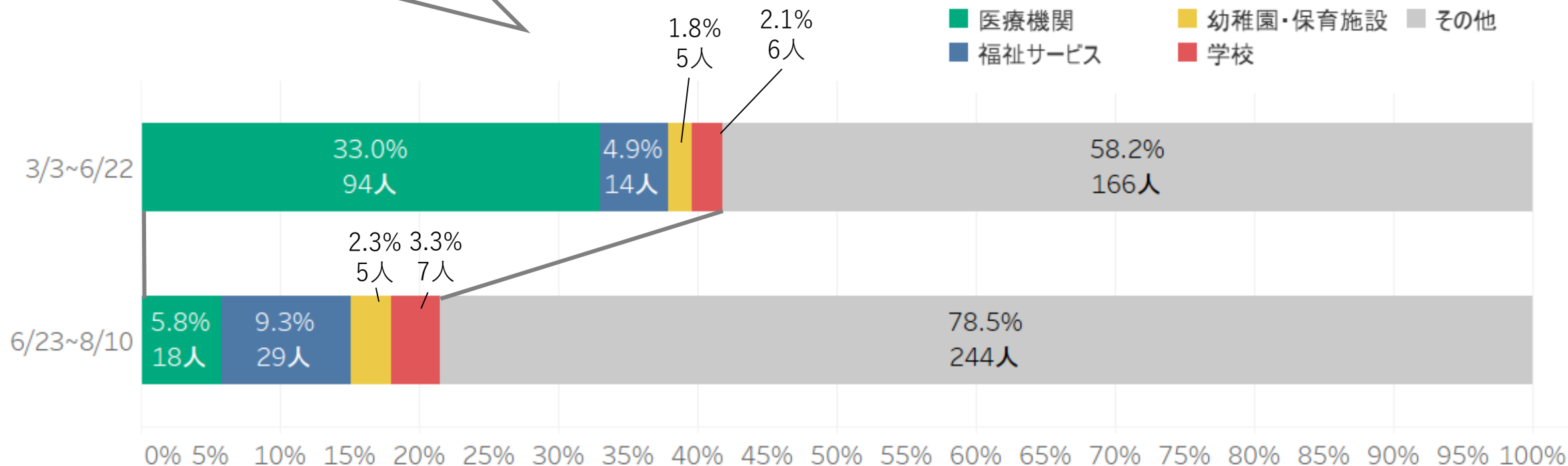


症状がある人の検査  
3,595件 (71.8%)

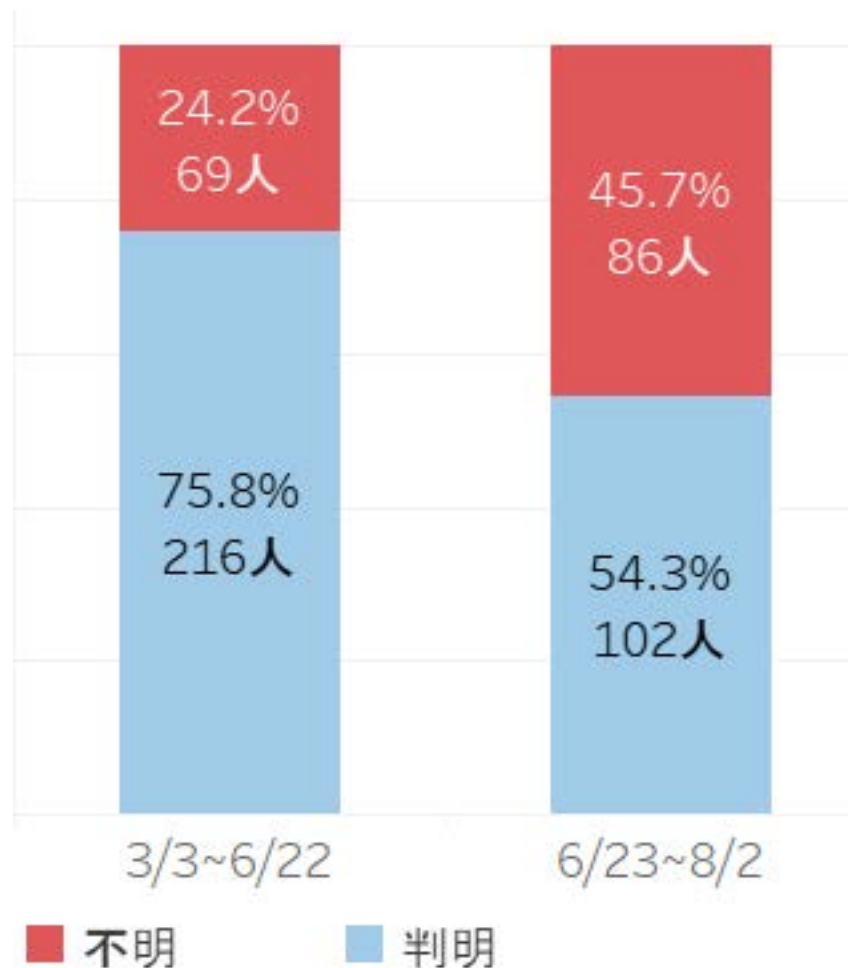
積極的検査：濃厚接触者と健康観察者に対して行う検査  
濃厚接触者：国基準による検査  
健康観察者：国基準を超えた神戸市独自での検査

# ハイリスク施設での感染拡大防止について

ハイリスク施設で患者が発生した際には、積極的検査を実施し、発生割合を  
**41.8%から21.5%に減少**



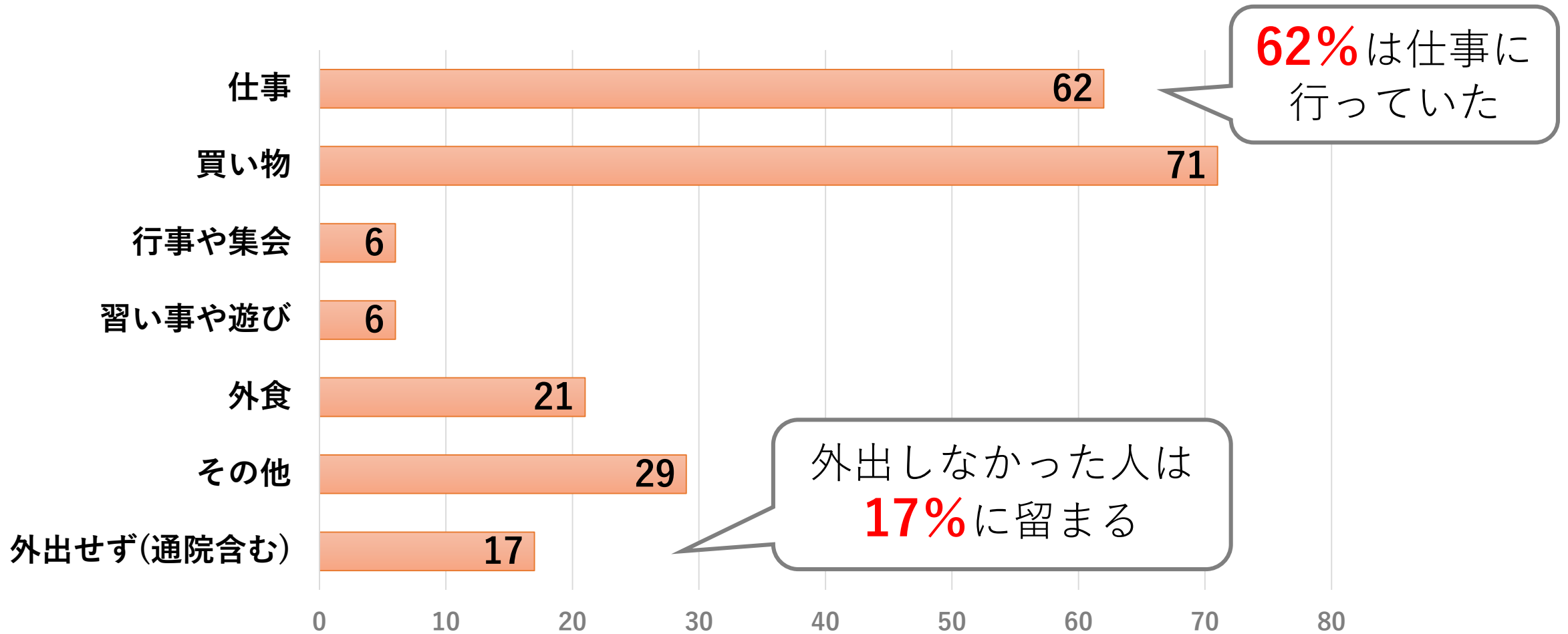
# 感染経路の判明状況



速報を含めて**半数以上**の感染経路が**判明**  
今後、保健所の調査により、感染経路  
「有」の割合が更に増加する見込み



# 風邪症状があっても外出した人の目的



東京医大などの研究チーム アンケート調査結果より

アンケート概要：関東地方在住で仕事を持つ20～79歳男女約1,200人を対象に、インターネットで実施。  
今年2～5月で体調不良があったと答えた82人の回答を分析。（複数回答）

## 米疾病対策センター(CDC)の調査結果

「大半の感染者に**発熱,せき**や**息切れ**のうち少なくとも1つの症状がある」

症状：せき(84%)

発熱(80%)

息切れ(入院患者に多い)

味覚,嗅覚障害・筋肉痛等

**必ずしも発熱を伴わない！**

調査概要：今年1月中旬～4月に発症した患者164名の診断記録に基づき分析

熱がなくとも、せきやのどの痛み  
などの症状があれば、  
できるだけ外出は控え、仕事は休  
んでください

コロナは、風邪やインフルエンザと同じで誰でもかかる病気です

**敵はウイルス！**

感染者は非難される対象ではなく、  
**守られるべき存在**です

**国内初！**

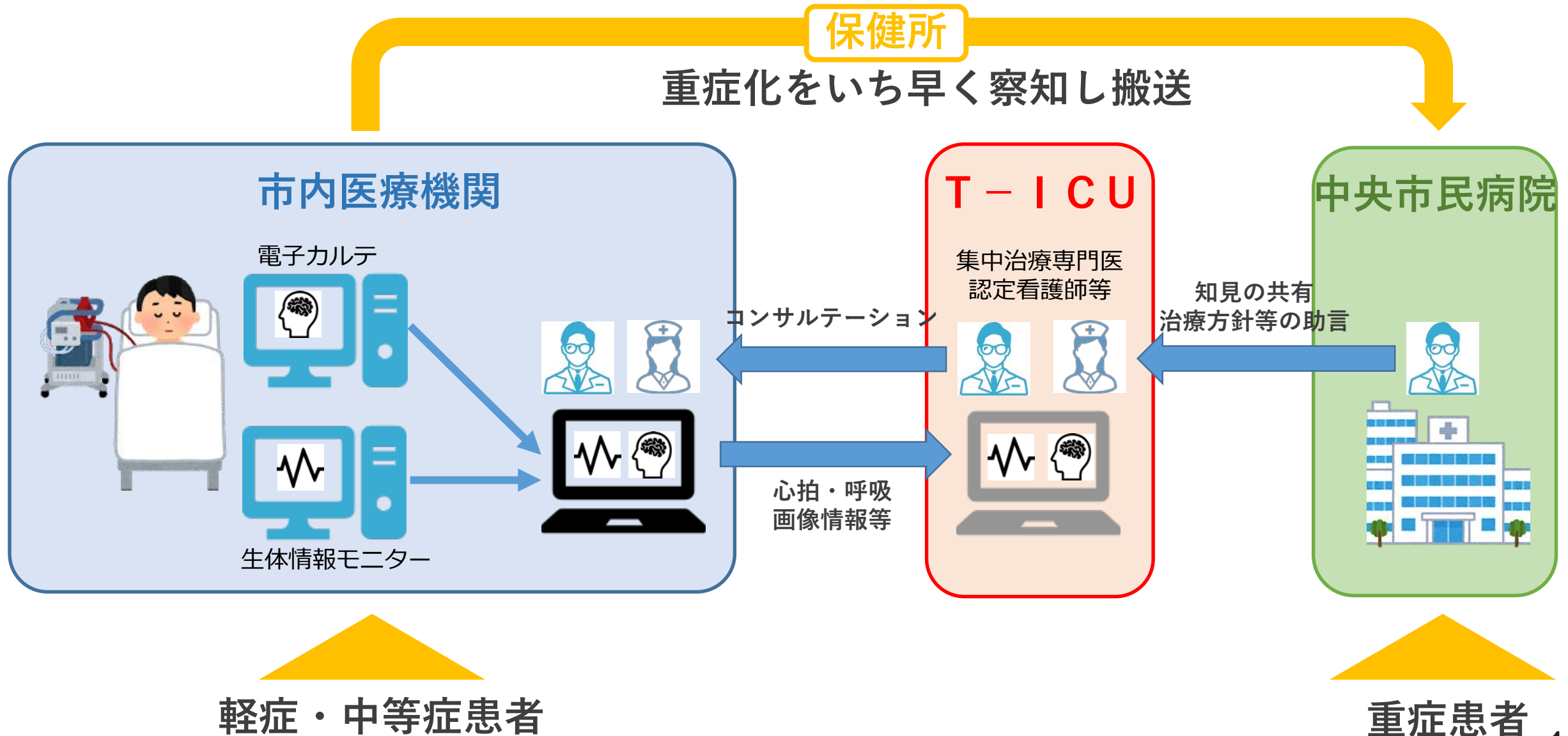
**新型コロナウイルス感染症の診療を支援する  
「遠隔 I C U システム」の導入**

- ① 新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療の提供と重症患者の早期発見、迅速な対応
- ② 市内医療機関における軽症・中等症患者向け病床の確保と現場の医師・看護師の負担軽減
- ③ 中央市民病院における重症患者への重点的な対応



市内の医療提供体制の安定的確保

# 遠隔 I C U システムを活用した感染症患者対応



令和2年4月～ 中央市民病院と西市民病院・西神戸医療センターの間で試行的に導入し、有用性を検証

8月 市内医療機関での導入先調整

9月 システム設置、運用開始

令和3年3月末 事業終了予定

※ ただし、新型コロナウイルス感染症の状況により  
延長の必要性を検討



2019年4月  
医療産業都市進出

500 Kobe  
Accelerator 2018

株式会社T-ICU



代表取締役社長 中西智之 (M.D.)  
京都府立医科大学医学部卒業。  
集中治療専門医/救急科専門医  
聖マリアンナ医科大学非常勤講師  
東京女子医科大学非常勤講師  
約1億4,000万円資金調達(2019年7月)

開始時期	2018年6月1日
事業内容	救急・重症患者に関する診療アドバイスの提供 (D to Dの遠隔医療)
登録専門医数	専門医33名、認定看護師：15名
提供時間	24時間365日
契約病院	21病院 (2020年7月末現在)
相談件数	約400件 (2020年7月末現在)
相談内容	重症患者管理 (病棟患者含む) / 救急医療

医師		看護師	
救命救急科、集中治療科	所属	集中治療室、救急外来	
35歳~45歳	年齢層	32歳~45歳	
非常に優しい	性格	医師よりも更に優しい	
集中治療専門医 救急科専門医など	保有資格	集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師	